

旭大高吹奏楽部がクリスマスコンサート

昨年12月23日、旭川大学クリスマス企画学生有志の会(代表・コミュニケーション福祉学科3年、横尾大輝さん)が主催して第三地区コミュニティセンターで旭川大学高校吹奏楽部(稲葉安実部長・31人、指揮・川島明人先生)の第2回クリスマス音楽祭を開きました。



「ハウルの動く城」(2004年東宝映画宮崎駿脚本・監督、スタジオジブリ製作)から主題歌「世界の約束」(作詞・谷川俊太郎、作曲・木村弓、編曲・久石譲)、ジャパニーズ・グラフィティなど、クリスマスにちなんだ曲、懐かしい日本ポップスヒットメドレー13曲で楽しいコンサートのひと時を演出しました。

新成人、64人が新たな門出

1月10日、農村環境改善センターで28年成人式を行いました。



今年の出席者は64人。昨年1月から来町して旭川福祉専門学校で日本語を学んでいる中国、タイ、ベトナムからの留学生3人、町内の農場で働いている6人の中国人の方も新成人として出席し社会人の仲間入り。同じ学校で勉強している友達も祝福に訪れました。

式辞に立った松岡市町長は「東川の人口は45年先に伸びる、と注目されています。皆さんは今の私たちの年代のために実家で働いています」「大学で公務員試験に向けて勉強中」「トリーマーの勉強中」「目標の就職機乗りになつてこの国を守りたい」など一人ずつ自己紹介して近況や将来の夢を披露し合い、会場で旧交を温めています。

ジャズピアニスト、野瀬栄進さん初コンサート

1月16日、ジャズピアニスト、野瀬栄進さんが地域交流センターで初のコンサートを開きました。



「黒いオルフェ」「モーニン」の3曲を即興スタイルでジャズメドレー演奏すると大きな拍手も。白一面の雪景色に溶け込むように響く演奏のひと時を楽しみました。

昨年12月に初めて来町し、直後のコンサートを実現しました。ピアノ・ソロコンサートの出だしはゆつくりとしたテンポで始まった即興演奏。天井まで大きく開口している窓の外に広がる田園の雪景色を見ながら、即興曲となつて町のイメージをつむぎ

一年の無災害願って消防出初め式

1月5日、大雪消防組合東川消防団(金盛勇松団長)が消防出初め式を行いました。



午前10時、氷点下5・9度と気温は高め、曇り空に時折雨が差す穏やかな年の始めを迎えました。役場庁舎前に町内5分団80人が勢ぞろい、松岡市町長らの観閲を受けました。

団員は観閲後、道道旭川旭岳温泉線の基線道路約500mを分列行進して年初の出動に身を引き締めていました。終了後、東川町農協大ホールで功績者20人の表彰を行いました。表彰者は次の通り。(順不同、敬称略)

- ◇町長表彰(勤続30年、同20年、同10年は道知事、道消防協会会長表彰兼彰)
 - ▼勤続30年 能沢勇人(第1分団分団長) ▼同25年 秋葉政幸(同副分団長) ▼同20年 篠原猛志(同班長) ▼同15年 児玉晃一(第5分団員) 中條勝彦(同同) ▼同10年 松尾光晃(第1同) 松崎大輔(同同) 中田篤志(第2同) 川倉博之(第5同) 岡村博信(同同)

バレー・ひがしかわジュニアベストの

東川町内のバレーボール少年団、ひがしかわジュニア(藤原弘治監督、23人)が道北代表として道内小学生バレーボール大会の頂点選抜優勝大会でベスト8に入る活躍をしました。



復活戦で岩見沢志文ファルコングズに「2-1」で勝利し、6年生、塚原百恵さん、藤井悠さん、福積璃音さん、窪田愛日さん4人にとつて大きな思い出となりました。

第32回北海道小学生バレーボール選抜優勝大会(1月9、10、11日・江別市野幌総合運動公園総合体育館)。女子は道内4地区から代表16チームが出場しました。

今年も目を離せません。今年も目を離せません。今年も目を離せません。

道北地区予選でかろうじて第4代表を勝ち取つて全道出場を果たした大会でした。予選グループ戦で道東代表のSSJ(白糖)に敗れたものの、敗者

五輪目指し、日本語留学生がXCC大会初入賞

旭川福祉専門学校日本語科のサイ・シヨウエ



日本語留学生2人が、1月17日鷹栖町で開かれた第26回北野クロスカントリー大会男子30歳未満(10キロ)で大会初入賞しました。レイさんは2位、ナットさんは3位とうれしい初入賞。実を結び始めてきた成果に「も

っと頑張ります」。

最大の目標は、2年後の韓国ピョンチャン(平昌)冬季オリンピック、クロスカントリースキー競技への出場。一昨年来日し、強化トレーニングを重ねながら日本語習得にも励んでいます。今季はすでに7戦に出場。今後、バレーボール大会(旭川)、宮様スキーマラソン大会(美瑛、札幌)にも出場予定です。